

患者様各位

令和7年10月1日より当院は一般病棟から、地域包括医療病棟に全床転換いたします。

2階病棟→47床

3・4階病棟→50床

合計97床

地域包括医療病棟とは

地域包括医療病棟とは、比較的高齢の救急患者様を受け入れる体制を整え、リハビリテーション、栄養管理、退院支援等の機能を包括的に担う病棟です。

A D Lの維持／向上および早期の在宅復帰を目指した医療・ケアを提供します。

軽症・中等症の救急搬送・下り搬送の受け入れ

軽度から中等症の救急医療を提供できる二次救急医療体制を整え、高齢者の様々な状態の患者様を受け入れいたします。また、入院治療の機能分化及び受入体制の確保のため、高次の急性期病院と連携し、高次急性期病院に救急搬送された患者様が「連携する一般病院でも対応可能」と判断された場合に転院搬送する「下り搬送」を受け入れています。

チーム医療の徹底

入院早期に多職種で合同評価を行い現状の把握、治療やリハビリテーション、栄養面についての話し合いを行い、方針の共有を行います。退院時の状態をイメージしながら各専門職がそれに向けて協力し合いながら調整を行います。

入院費用について

当院では「地域包括医療病棟入院料」を算定します。詳細については、入院窓口へお問い合わせください。

入院期間について

患者様のご状態により適切な入院期間を提案しますが、90日が入院期間の限度で、平均在院日数は21日以内となります。